

中原消防団
広報誌
第27号
平成31年2月
発行題字 中田 隆氏

翔 太



平成31年中原地区消防出初式開催 「自助共助 地域で育む 防災意識」

平成31年消防出初式統一標語

皆様、新年明けましておめでとうございます。平成31年の輝かしい新春を迎える中原消防署の皆様にお祝いを申し上げますと共に、この一年が皆様にとって素晴らしい一年でありますようにお祈り申し上げます。

また、中原消防署、中原消防団が中心となり、中原消防ボランティア委員会等、中原区民が平穏で健やかに過ごせる一年であります事を心より祈念いたします。

1月6日(日)に開催されました。



中原消防署
署長 谷 芳之

新年あけましておめでとうございます。本年も署員・団員の皆様、そして御家族の方々が明るく幸多き年であることを望みます。1月6日(日)の中原地区消防出初式は、多数の御来賓及び区民の皆様が見守る中、盛大に挙行出来ました事を感謝致します。当日は平間幼稚園幼年消防クラブ、住吉高校チアリーディング部の見事な演技で華を添えて頂きました。



中原消防団
団長 布施 行雄

各部隊分列行進に続き、虹に輝く一斉放水を披露し中原消防の士気の高さを見て頂きました。昨年は世相を表す漢字「災」に象徴されたように各地で災害の多い年でした。本年は阪神淡路大震災から24年、当時の映像を見ますと、瓦礫と化した街に茫然と立つ市民、そして苦悩に満ちた消防隊員の姿が映し出されていました。いつ起るか分からぬ大災害に対処すべく、我々消防団と地域の皆様とが力を結束し、困難に立ち向かわなければなりません。その為にはより一層、自ら主防災訓練を強化すると共に、救命センターの御指導を頂き、救命技術の向上を図ります。さらに東急電鉄の御協力を頂き、電車災害対応訓練を実施致しました。その際、隣接する港北消防団と連携し合同研修も行いました。また中原消防署・中原区役所・中原警察署が連携し、安全安心な中原区を目指す「M E Z A S H I (メザシ)」トリオ

た新春恒例の中原地区消防出初式にあたりましては、曇天の寒さが厳しい中、団員皆様の御協力のもと、向坂中原区長をはじめ、大勢の御来賓や多くの区民の皆様に御出席いただき、盛大に行なうことができました事を、紙面をお借りいたしまして心より御礼申し上げます。昨年を振り返りますと、大阪北部地震や北海道胆振東部地震などの大きな震災が発生したほか、西日本を襲った豪雨や8月には台風が連続して発生し、台風24号が関東地方に上陸する等、自然災害が猛威を振い、多大な被害をもたらした年でありました。

中原区を見ますと、台風による被害も少なく水害には見舞われませんでした。火災件数は昨年と同じ45件でございましたが、2年振りに火災による死者が2名発生し尊い命が失われております。火災原因も昨年に引き続き、放火が減少し、電気関係が1位となっています。これも消防関係団体等の皆様や区民の皆様の防災に対する意識の高さではない

かと思つてゐるところでござります。しかしながら、災害はいつ発生するかはわかりません。昨年11月には区長警察署長と消防署長で中原区の安全安心のシンボルとして「M E Z A S H I」を結成し、区民の皆さんに広報活動を行つてゐるところであります。この3機関が強固な連携を図ることで、区民の安全・安心を目指して参りたいと思つております。

また、今まで以上に中原消防団と中原消防署が両輪となり、25万の区民を守るために、全力で災害対応できるよう、頑張つて参りたいと存じます。

昨年同様、中原防火協会、中原消防研究会、中原消防ボランティア委員会等消防関係団体に御協力を頂き、川崎市で一番防災意識の高い住民のいる中原区にしていきたいと思っております。

結びになりますが、中原消防団の御発展と皆様の御健勝、御活躍を祈念申上げまして、年頭の挨拶とさせていた

年頭の挨拶

団と日本医科大学武藏小杉病院のドクターカーチームとの交流を深め、災害時の協調体制を組んで参ります。

2020年には東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。この世界大会を成功に導く為、国を挙げての警備態勢が敷かれます。その一環として消防団も協力体制を敷く事が望れます。それらに対応すべく、より一層の災害対応能力を高め、この一年区民の期待に添えるべく努力していく所存であります。

また近年、中原区の人口が急増しており、団員募集が喫緊の課題となつてゐる今、現団員の皆様も魅力ある消防団をアピールし、入団促進に結び付けて頂ければ幸いです。併せて各町会、職場の皆様からも人材発掘を願つて止みません。御支援宜しくお願ひ致します。

本年も中原消防団頑張ります。



消防車両、双腕仕様機アスタコも出動



消防関係団体の表彰



住吉高校チアーディング部の演技



布施団長、谷署長より園児に記念品贈呈



川崎市消防局航空隊そよかぜ 2 号の祝賀飛行



一斉放水

平成 31 年 1 月 6 日 (日)
等々力緑地催し物広場

MENASHI とは

「各機関の長が協力して取り組む姿に感動しました。谷署長の人柄がユニットの結成と成功に繋がったと思います。」
(中原消防団広報委員)

中原区長
向坂 光浩
さざさか みつひろ

中原消防署長
谷 芳之
たに よしき
則次 誠二郎
のりつぐ せいじろう



NAKAHARA Safety and Security **MEZASHI**

中原区の消防・警察車両には「SHISHAMO」がプロデュースした「メザシ」のロゴマークが

平成 30 年 11 月 11 日 (日) 開催の消防防災フェア 2018 において、スリーピースロックバンド「SHISHAMO(シシャモ)」を 1 日消防署長としてお迎えした際に、中原区の安全・安心を目指すことを目的として、中原消防署長、中原区長、中原警察署長により結成されたユニットが「MEZASHI(メザシ)」です。



毛布を活用した簡易担架

中原区では、昨年度から年 2 回「地震への備えや地域での助け合い」をテーマに、発災時における地域防災力の「自助」・「共助」の強化に重点を置いて、この訓練を実施しています。

平成 30 年度は第 1 回が平成 30 年 9 月 23 日（日）、川崎市立住吉小学校において実施され、本部員と住吉分団が参加。第 2 回は平成 31 年 1 月 27 日（日）、川崎市立平間中学校において実施され、本部員と玉川分団が参加しました。

当日は「簡易担架」「身近な物での応急救護」「消火ホースキット」



消火ホースキットの放水訓練



身近な物を使った頭部の手当

トの取扱い」を指導、参加した地域の方に体験していただきました。



第 8 代団長 中田隆様手作りの空き缶防火提灯・累計 1 万個



防火着で記念撮影の様子



「太助」と「翔太」

平成 30 年 10 月 21 日（日）、第 40 回なかはら「ゆめ」区民祭（等々力緑地）に警備協力と体験広場を担当し参加しました。



元住吉検車区で記念撮影

- ▼ ▼ ▼ 内容
- ▼ 異常時訓練のデモンストレーション
 - ▼ 避難梯子の組み立て
 - ▼ 車両の高圧機器の場所
 - ▼ 直接降車体験

港北消防団と合同研修会

平成 31 年 2 月 12 日（火）、東急電鉄元住吉総合事務所にて、横浜市港北消防団との合同研修会が行われました。当日は東急電鉄の皆様より、異常事態発生時における、消防関係者の協力についての講習を受けた後、訓練見学・直接降車体験等の研修を行いました。

中原消防団新入団員の紹介

①生年月日 ②職業 ③入団のきっかけ ④抱負 ⑤趣味・その他



玉川分団
こみや
小宮
あきら
憲

① S40 年 9 月 28 日

②会社員(三菱マテリアルテクノ(株))

③入団を迷っている時に、団員である同級生から誘つて頂いたので、地域の役に立てればと思つた。

④地域の安全・安心が守られる様に訓練、トレーニングに励み、微力ですが少しでも貢献していきたいと思います。

⑤ランニング、スキー



丸子分団
まき
槇
ゆきひろ
幸紘

① H10 年 3 月 11 日 ②大学生

③消防団の活動に興味があつた為。

④消防団での活動を通して地域の人々と関わり、お役に立てるように頑張ります。

⑤体を動かすことが好きです。



大戸分団
あきもと
かな
秋元 花菜

① S59 年 7 月 29 日 ②和菓子製造業

③団員の方に誘われて入団を決めました。

④少しでも地域のために貢献出来るように団員としてのスキルを上げていきたいと思います。

⑤ドライブ、野球、ゴルフ、野球観戦。



(写真右より)
古尾谷 康子 (ふるおや やすこ 木月4丁目)
佐々木まゆみ (ささきまゆみ 木月4丁目)
田 中 和 (たなかい 木月4丁目)
高橋 千恵子 (たかはしちえこ 木月4丁目)
角 沙 織 (かどさおり 新丸子町)
栗山 友紀子 (くりやまゆきこ 木月1丁目)
大原 恵美子 (おおはらえみこ 中丸子)



出初式にて

本部所属消防団員

平成 30 年 10 月に本部所属の団員が 7 名入団しましたので紹介します。

本部所属団員は主に火災予防、消防大会の受付、アナウンス等を担当して活動します。どうぞよろしくお願ひ致します。

消防団員募集中

★防災知識を身につけたい方
★少しでも人の役に立ちたい方
★家庭と仕事以外に地域に携わりたい方
★あなたの力を発揮してみませんか！

入団資格：中原区在住・在勤・学生の方で 18 歳以上の健康な方、男女は問いません。お問い合わせは、中原消防署又は近所の消防団員まで。

資機材の配置

◇ チェーンソー 3 台

(平成 29 年度から 3 年間で 9 台)

◇ ライフジャケット 29 着
(平成 29 年度から 184 着 計 213 着)

編集後記

今年も防火・防災、地域のために頑張ってまいります。
どうぞよろしくお願ひ致します。

発行責任者 布施行雄
編集 中原消防団広報部
広報部長 加藤譲司

中原分団 遠藤卓弥・小川敏央
大戸分団 原 清郊・大場 隆
住吉分団 田口眞弓・鈴木正基
玉川分団 長谷川正美・野口恭之
丸子分団 松川正二郎・山本喜道